

会議の名称	第4回タウンミーティング
開催日時	平成26年5月31日(土) 午前10時～午前11時
開催場所	佐織公民館 研修室
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長 参加者 99名
テーマ	愛西市の財政、将来展望を含めた市政運営について
質疑応答	
市民A	<p>タウンミーティングでございますが、非常にいいことだと思います。しかも市長さん自ら全般的なことをお話になりまして、市長さんの思いといいますか、市長さんから全般的なことを丁寧にお話いただいたと思います。総務部長さんも企画部長さんもおられますが、ともすると総務部長さんのところは、総務部長さんが、企画部長さんのところは、企画部長さんが話されるということになりがちですけれども、市長さんが自ら全体のことをお話になられたのは非常にいいことだと思います。</p> <p>そこでですね、私が見つめたことですが、勝幡の駅前の整備をやっていただきまして、当初予算が20億を超えておられるわけですが、長い年月がかかりましたが、ようやく整備されました。名鉄電車の駅舎も100年ほど経過しまして改修していただきまして、さらにですね、南側に改札を作っていただきました。住民にとって非常によくなったと思っております。そういう状況でございますが、ひとつ気がかりなのは、市長さんは、お生まれになっているかどうかわかりませんが、私もいつの時代かということは覚えておりませんが、勝幡駅のもう少し上だと思いますが、いわゆる逆線引きをやっておるんですね。逆線引きはご存知のように、市街化区域を市街化調整区域に変えたんです。農家をやっていらっしゃる方には、市街化調整区域の農地と市街化区域の農地では、税金の面、固定資産税で天と地の差があります。国税の相続税も非常に違いがあるということでございまして、農家の方の意見が通れば、その当時は農家の方が多かったものですから、逆線引きがなされたわけでございます。最近、農家の跡取りの問題で非常に困っておるという状況でございます。農家の方で土地活用をしたいというお考えの方もおられますが、土地活用をしようものでも調整区域ですから、土地活用ができないということでございまして、前の整備の時、20数億くらいかかったかと思いますが、町おこしといいますか、地域の振興をですね、していくようにするならば負担になるような気</p>

	<p>がいたします。駅を出るとすぐ市街化調整区域になるということでございます。土地活用をするのに非常に制約がある。従いまして具体的に言えば、建物を建てるにいたしましても簡単には建てることのできないということでございます。条件付きで建てることはできるということでございますが、一般には建てることのできないという状況でございます。人口もなかなか増えない、名鉄電車の乗降客も増えない、従って駅員もなかなか配置してもらえないという状況でございます。いろいろな条件が変わってまいりますので、40年ほど前になるかと思いますが、逆線引きを少なくとも従前の線引きに戻すということが必要になってきているのではないかと気がしております。依然として反対の方もおられます。それも承知をいたしておりますが、諸般の情勢を考えますと逆線引きをもとに戻すことが必要ではないかと思っております。これは愛西市だけではなくて、愛知県にも働きかけをしなければできないことかもしれませんが、市としてどのような見解をお持ちであるのかお聞きしたい。もう一つはですね、担当部署としては都市計画課かどうか知りませんが、担当部署を教えてください。以上でございます。</p>
副市長	<p>ただいまの意見について若干答えさせていただきたいと思っております。担当部署は、当面は都市計画課だと思っております。逆線引きを市街化調整区域から市街化区域に戻すということは、市街化区域の編入を愛知県はなかなか認めてくれません。これにつきましては、人口フレームだとか土地活用あるいは区画整理が義務づけられます。先ほどおっしゃられました住民の同意も必ず必要になりますし、区画整理の担保が必要となってきます。かなり今の状況では苦しいと言いますか難しい状況でございます。</p>
市民B	<p>こういう試みは非常にいいと思っておりますが、1時間くらいでは、課題の掘り下げと各市民の課題を聞いて、それに対して回答するというのはなかなか難しいと思っております。それでやろうと思わずにこれを機会に何回かもっと掘り下げたポイントをですね、あるいはこの間こういうチラシ「AMS メンバー募集」という形で個々の勧誘で聴講を勧めるということもやっていただきたいと思います。課題が非常におおざっぱすぎて、基本的には財政とか人口減少でこれから苦勞されると思っておりますが、それに対してですね、いずれにしてもこの短時間では難しいと思っております。ぜひ、機会をたくさんもっていただいて進めていただきたいと思います。以上です。</p>
市長	<p>ご意見ありがとうございます。初めての試みで他の会場でもいろ</p>

	<p>いろなご意見をいただいております。今後につきましては、今回終わりましたら今後どうしていくかを考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
市民C	<p>3つほどお願いします。合併時において、協定によって4庁舎を存続させて使用し、住民のサービスに努めますということで、佐織庁舎でできる業務はそのまま続けてほしいと思います。佐織から佐屋まで車がないとたいへんなんでございます。一つお願いしたいと思っております。</p> <p>2つ目ですが、今盛んにメディアで、南海トラフとかなんとか言われていまして、大震災による津波でですね、庁舎がある佐屋はですねー2.9mともものすごく低いところにありまして、佐屋1ヶ所で集中するのではなく、分散して守る必要があるのではないかと考えております。3つ目はですね、選挙の棄権防止について、佐織庁舎でも期日前投票を行っていただくと棄権者が減るのではないかとと思っておりますが、よろしくお願いいたします。</p>
総務部長	<p>3点ほどご意見をいただきましたが、順次お答えをさせていただきたいと思っております。まずは、1点目の合併時の庁舎の関係ですが、今後も佐織庁舎での業務が望ましいとご意見をいただきました。ご存じのとおり、先ほど市長からも話がありましたが、統合庁舎が来年の2月に完成をするということで進んでおります。佐織庁舎、立田庁舎、八開庁舎については、支所として整備を進めていきます。ちょうど今、皆さんの意見をパブリックコメントという手法で1か月実施をして、現在担当課で集計をしているところでございます。ここでひとつ皆さんにご理解をいただきたいのは、議会でもこういったお話がありましたが、佐織庁舎がなくなるのではないかというようなお話があった経緯があります。そうではなくて、支所として残すということを申し上げましたが、佐織庁舎全体を残すことは無理です。立田庁舎もそうです。と申しますのは、昭和40年代に建てた庁舎ですので、耐震を考えますと当然残すことは無理です。業務の関係であります。当然、今の皆さん方が窓口にお越しになってそこでサービスを受けていただくという体制は続けるということになります。本庁舎では現在も続けています。若干違うのは、佐織庁舎は福祉、戸籍関係の本課が入っております。新しい庁舎ができると本課が新庁舎に集約されるわけですが、ただ支所になったからといってサービスを低下する体制は取ることは考えておりません。佐屋の庁舎の総合支所では、戸籍関係も福祉関係の窓口業務も</p>

	<p>行っておりまして十数人の職員を配置しております。そういった体制をこれから支所ですっていく整備をするということですから、これから窓口にお越しになって戸籍関係にしる、福祉関係にしる、今までどおりのサービスを提供させていただくという体制で今のところ考えております。</p> <p>南海トラフの関係ですが、先ほど市長も申し上げましたが、新聞各紙が取り上げておりますが、庁舎につきましては－1.6mで、現在建設中の統合庁舎は－1.8mくらいの海拔0m地帯に建っております。今度の新しい庁舎は地震に対応できるような免震と今の1階のフロアはプラスマイナス0ということで、今の佐屋の庁舎の玄関の高さあたりに1階のフロアがくるように建てます。ですから、伊勢湾台風程度の浸水には耐えられるようになっております。できれば、各庁舎にすべての機能を備えられればいいのですが、新庁舎はそういった機能を持っておりますが、それぞれの支所は既存の施設を一部残しますので、その中で、もしあつてはいけません、そのような対応ができるよう図っていくことが必要であろうかと考えております。</p> <p>期日前投票についてですが、以前は各庁舎で実施をしていた経緯がありますが、市民の方からいろいろご意見をいただきました。4つの期日前投票所を開設してそこに配置する職員や投票立会人さんも含めて一方では無駄ではないかというご意見もありました。そのような意見を集約させていただきまして、選挙管理委員会におきまして、いろいろ協議をしていただいた結果、期日前投票所は本庁舎1ヶ所ということで、現状のとおりとなりました。皆様方に多少ご不便をおかけすることになるかと思いますが、ご理解を賜りたいと思います。以上です。</p>
市民D	<p>先ほど、市長さんからいろいろお話がありました3番目の介護・医療についてご質問やらお願いをさせていただきたいと思います。少子高齢化がどんどん進む中、これから愛西市として高齢者に対して、どんな介護をしていくのかということで、財政からみればかなり厳しいということはよくわかっておりますが、もう少し考え方を変えていただく必要があるのではないかと申しますのは、病気になって介護をするよりも、もっともっと予防に力を入れていただく必要があるのではないかと私は考えております。今、いろいろ社会問題になっております認知症対策の問題でございますが、一つ例を挙げて申し上げますと、中日新聞の朝刊のコメント発言欄のところ、</p>

	<p>5月26日尾張旭市の78歳の男性の方でございますが、「認知症高齢者は予備軍を含めると800万人になるといいます。徘徊による行方不明者は昨年1万人を超えたとか。最近認知症に関連する報道が目立ちます。認知症は高齢者にとって気がかりな病気です。しかし、認知症のなかで最も患者数の多いアルツハイマー病の最新の研究によれば軽度認知障害の段階で有酸素運動と能トレニングを組み合わせたプログラムを実行すれば、記憶力、脳の委縮が改善され効果が得られる」と書いてあります。尾張旭では、脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」というのを実施しているのだそうです。こんなことで、年齢がいけばだんだんこうなるのはわかるわけですが、あくまでも高齢者でも自立して生きていけるような社会を作っていく、また、私たちもそういう自覚が必要でございますが、そのための予防対策をもっともっと施策をしていただければありがたいと思います。認知症の恐怖から逃げるのではなく、病気にならないよう、または進行を食い止めるよう積極的に行動していきたいと個人的にはそう思っておりますが、行政の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。私の質問といたします。ありがとうございました。</p>
<p>市長</p>	<p>認知症につきましても早期発見で早く治療に入っていただくのが、大原則であると思います。やはり、家族の方に気づいていただくことが第一だと思っております。進行を遅くする薬が現在出ておりますが、先ほど質問で言われました有酸素運動等につきましても、まだまだこれから進んでいく技術だと思っております。認知症につきましても、本当に家族の方もご苦労されていると思いますので、できる限り、認知症かなと思われたら、早く専門医にかかっているのが必要かと考えております。また、尾張旭市さんが実施をされております認知症チェックについては、私も聞いておりますが、現状、他市の状況や効果等も十分に検討しながら考えていかなければならないと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>市民E</p>	<p>藤浪駅を整備していただきまして、おちよぼ稲荷の方に甥っ子が住んでおりますけれども、こちらに通うようになりまして本当にありがとうございました。岐阜県から愛西市に通ってくれるようになりました。巡回バスの件でご質問させていただきたいのですが、JRの永和駅の前に看板ができて、100m先にバス停がありますよということであたいへんいいのですが、永和駅を降りた人がですね</p>

	<p>そこまで100m歩いて行って、バスが出てしまった後で、バスを2時間待たなくちゃいけないとなると、がっかりさせてしまうことになると思うんですね。バス停の位置を表示していただいたのですが、そこに時刻表があれば、あと5分だから急いで行って乗ろうかなということがあると思うので、せっかく作っていただいた看板ですので、そこに一緒に時刻表があった方がいいのではないかと思います。以上です。</p>
総務部長	<p>ご提案ありがとうございます。今、写真を拝見させていただきましたが、今、おっしゃるようにそのへんの配慮が必要かなと思いました。もう一つ付け加えさせていただきますと、バス停が見にくいというご意見もいただいております。皆さん方に気持ちよく巡回バスをご利用いただけるようにしたいと思っています。ここが巡回バスのバス停だなということがわかるようなバス停のマークといえますか、表示や形も考えていかなければと内部でも話が出ています。貴重なご意見ありがとうございます。改善できるものは改善していきたいと思っています。</p>
市民F	<p>最初にですね。先ほどご質問がありましたが、勝幡町の逆線引きをもとにもどしますと税収はアップになるということでしょうか。</p>
副市長	<p>はい。そうです。ですが、先ほど申しましたように市街化区域の拡大は、かなりハードルが高いと思っておりますし、しっかりとした位置づけをしないと前に市街化区域であったところを市街化調整区域にしたところでございますし、特にそういうことを考えると今の人口減少のこういう社会からいうと人口フレームの関係でもなかなか愛知県でも市街化区域の拡大は認められませんので、そのへんをしっかりと位置づけをして検討・協議をしていかなければ難しいと思います。</p>
市民F	<p>コンパクトシティというところがありますが、いわゆる人口が集中しているところはしている。先ほどおっしゃられたことは、駅前に田んぼとか大豆畑とかがあっても市の発展にはつながらない。駅前の土地が有効活用されないのはどうですかということをお話をされたと思います。それはよく検討していただきたいと思います。それからもう一つ期日前投票の話です。相当数ですね、本庁舎のある佐屋と佐織地区の期日前投票者数に差異があるんですね。だいたい数字で言いますと佐屋が2,704人です。ところが、佐織地区は本庁舎まで非常に遠いんですね。駅からも遠いですし、車がなければどうしようもないというところで、佐織の期日前投票者数は</p>

	<p>807人しかないのです。3倍近く違います。これってどうでしょうか。</p>
総務部長	<p>数字のとらえ方は、いろいろなとらえ方があると思います。おっしゃることはわかりますが、先ほども申し上げましたように、私もいろいろな経緯がありまして、いろいろなご意見をいただく中で皆さんから反対だというご意見もありましたが、一方では無駄だという意見もありました。市が単独で判断したわけではありません。選挙管理委員会で何度も何度も審議をいただいた結果、愛西市の選挙管理委員会が出された結論です。投票所、投票によってはですねそれぞれご意見があることと思いますが、選挙管理委員会で最終的な結論をいただきました。期日前投票の数字は、選挙によって当然変わってきます。</p>
市民F	<p>そうですね。でも、結果が出たのであればそれに対してベストな対策をしていただきたいと思います。あともう一つは、佐織庁舎を壊してしまうというご質問だったと思いますが、一番小さな西側の新しい建物を残して、古い大きな建物を壊してしまうのかということですが、先ほど市長がおっしゃられたように逃げる、逃げ込む、佐織の人間が逃げ込む場所になると思います。もし、少し対策を練れば多くの市民の命を救えるのではないかと思います。</p>
総務部長	<p>ご意見のありました佐織庁舎の西側の庁舎を残して、全体を残してということですが、先ほども申し上げましたが、3つの既存の庁舎は支所として整備計画を進めていきますと今日に至るまで議会でもご報告をさせていただいております。市民の皆様方にも広報等で周知をさせていただきました。やはり、既存の大きな庁舎は昭和40年代に建設されており、耐震性がないです。存続をした場合のコストとか効果とかさまざま検討した結果、出した結論です。災害があった場合にそこへ市民の方が避難する、当然そういうことになれば避難できませんよということにはなりませんので、そういった施設として機能するような対策をとらなければなりませんし、皆さん方にも広報で避難所が54ヶ所ありますよと周知をさせていただきました。市長が申し上げましたように、まずは皆さん自身が自らの命を守っていただくと、自分のいる場所から一番近い避難所はどこかということを考えて、佐織庁舎だけでなく、身近な避難所を活用していただく意識をもっていただくことをご家庭等で話し合ってくださいということも大切ではないかと思います。庁舎の存続とは少し話がそれましたが、施設整備については先ほど申し上げました通</p>

	<p>り変更はございませんので、よろしくお願いいたします。</p>
市民G	<p>もう少し時間を取っていただけるといいなと思います。市長さんのマニフェストの関係で巡回バスの件で質問いたします。巡回バスが現状維持でいろいろみてきて、立田は南北に非常に長いものですから字が点在しているので乗る人が少ないんですよね。それをみてとって回避されていくとだんだん停留所が減ってしまって、今まで利用していた人も乗れなくなってしまったということがあって、立田の地域は交通量が少ないので、途中で手を挙げて乗せてもらえとか、そういう地域はデマンド方式というか予約して乗せてもらうという方法を検討してもらいたです。立田、八開の方は、これから佐屋に庁舎がいとまます市役所に行くのもたいへんになりますし、お医者さんも眼科とか耳鼻科はありません。どうしても津島に出ないといけないので生活にはかかせないと思いますので、そういうことも検討していただきたいと思います。津島の駅への乗り入れも検討していただきたいです。</p> <p>先ほど、認知症の話がでましたが、しきりにテレビでもやっていますし、私もひとり暮らしになりまして非常に心配しております。脳ドックの補助を、早期に発見するということが大事だと思いますので、脳ドックの補助を高齢の方には出すということを考えていただきたい。先日、私も脳ドックを受けてきましたが、非常に高いものですから、少し補助があると受けて事前に対応ができるのではないかと痛切に感じていますので、そういうことも是非対応していただけたらと思います。これから1時間ではなく、もう少し時間をとっていただければと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他の会場では早く終わったところもあります。今の会場が一番長い会場となっています。こういうことを含めて今年やるのか来年度になるかわかりませんが、次回以降の検討課題とさせていただきたいと思います。巡回バスの課題については、現在の巡回バスの委員の方もまだまだいろいろな課題を挙げておられますので、さらに検討されていくと思います。しかしながら、乗降客の要望や地域の方のご意見などいろいろ考えて今回の時刻表等の改正となりました。まずは、今回の状況をしばらく続けさせていただいて課題を解決していかねばならないというように思っております。また、他市との乗り入れの関係も課題に挙がっていますのでこの点も検討していかれることと思います。脳ドックの補助の関係も今後状況をみながらやっていただくことになると思</p>

	<p>います。認知症の方がいらっしゃるご家族の苦勞もよくわかっているつもりですので、ご質問いただいた方も不安であれば、まず専門医にかかっただいて対応していただければと思います。</p>
--	--